

市民ワークショップの開催について

1 市民ワークショップの目的

高齢化率の増加や要介護（要支援）認定者が増加し、高齢者を取り巻く環境は変化してきています。その中で、高齢者がこれからも住み慣れた清須市でいきいきと暮らしていくために何が必要か、何かできるのかについて、市民の皆さまから生の声をいただきたいと考えており、それを反映した計画書にするため、ワークショップを開催しました。ワークショップは、清須市の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に市民の生の声を少しでも多く反映させることを目的としています。

2 ワークショップの実施概要

	第1回目	第2回目
日時	平成23年4月19日 10:00~12:00	平成23年5月11日 10:00~12:00
テーマ	高齢になっても安心して楽しく住み続けられる清須市とはどんな街か	理想の街にするために必要なこと・できることは何か
参加者	町内会等、女性の会、民生委員、健康推進員、介護支援専門員、ボランティア、一般市民 …等	町内会等、女性の会、民生委員、健康推進員、介護支援専門員、ボランティア、一般市民 …等
参加人数	27人	21人

第1回目のテーマ：高齢になっても安心して楽しく住み続けられる清須市とはどんな街か

ワークショップ第1回目では、まずワークショップの趣旨や、進め方についてご理解いただけるよう、説明しました。

そして、「高齢になっても安心して楽しく住み続けられる清須市とはどんな街か」について意見をいただき、理想とする清須市の像について話し合っていたいただき、意見を共有しました。

第2回目のテーマ：理想の街にするために必要なこと・できることは何か

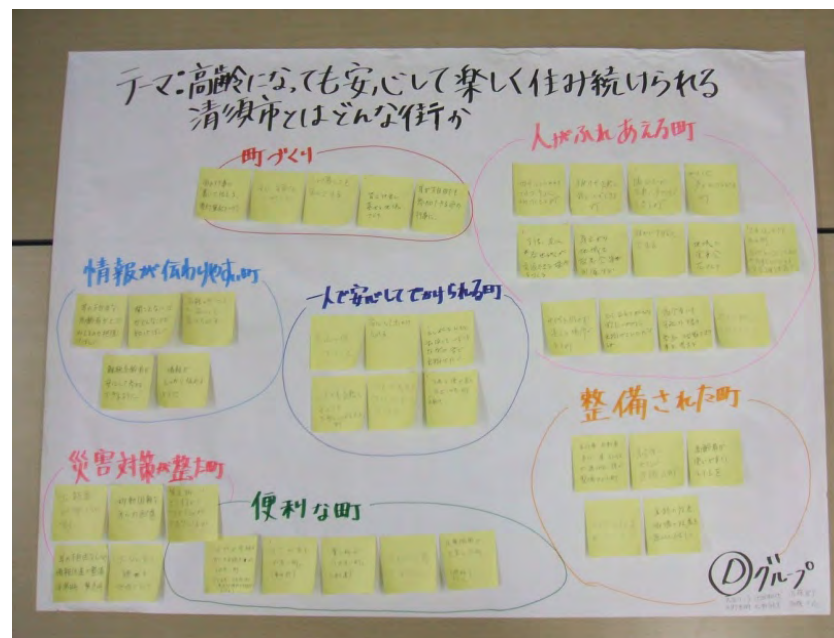
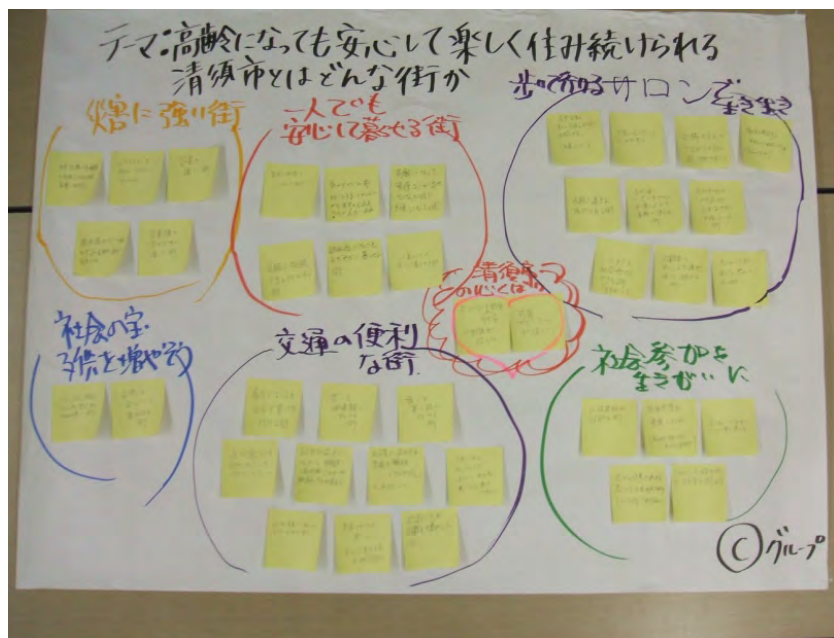
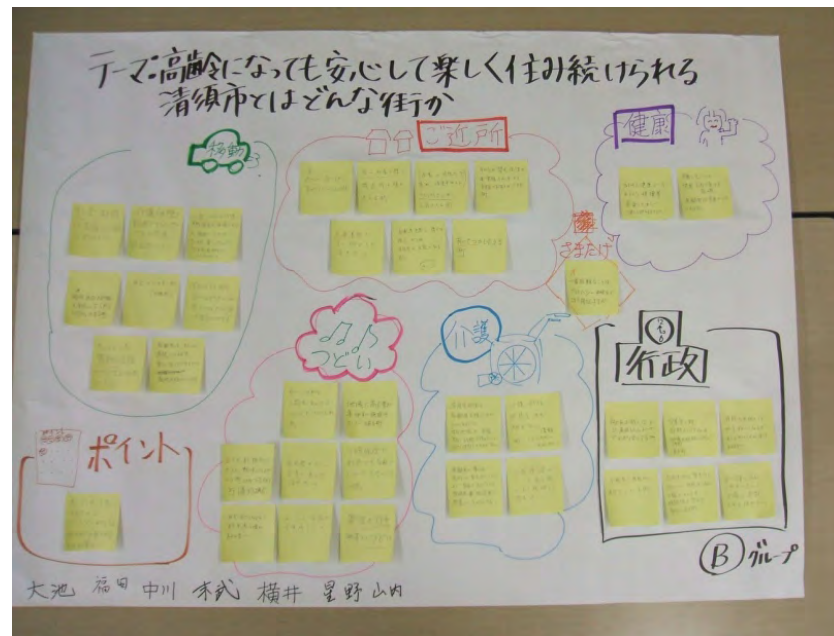
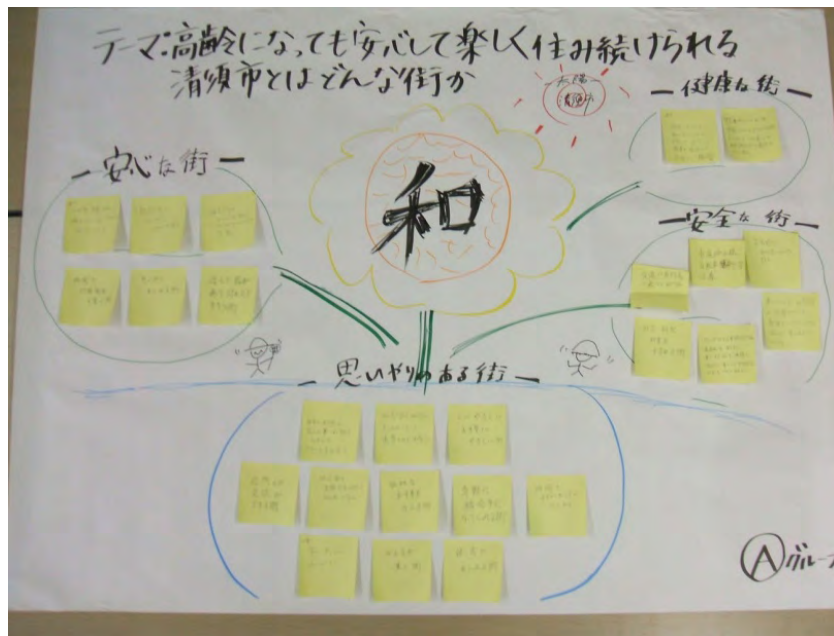
ワークショップ第2回目では、各グループで第1回目に出た「高齢になっても安心して楽しく住み続けられる清須市とはどんな街か」のまとめの中で、重点的なものを1~3個程度選択していただき、その理想とする街を実現するための課題・解決策について意見を共有しました。

問題・課題については自分や地域、行政ができることについて書いていただき、1回目と同じように話し合いながら意見をまとめ、共有しました。

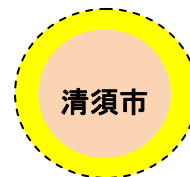
第1回目のまとめ

「高齢になっても安心して楽しく住み続けられる清須市とはどんな街か」
 続けられる清須市とはどんな街か」

第1回目のテーマ



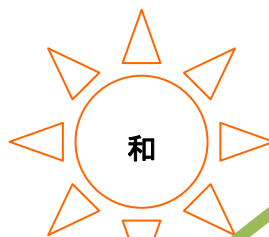
【Aグループ】



清須市

安心な街

- ・ 思いやりあふれる街
- ・ 地域の信頼関係を築く街
- ・ ご近所にどんな人が住んでおられるかのマップ作製
- ・ 心配事・有事の時、隣近所にすぐかけつけてくれる人がいる
- ・ 部落の中のグループ化 (20~30 軒)
- ・ 近くに店があり何でもそろう街



和

健康な街

- ・ 病気になったり動けなくなったりした時でも近所で食事や病院への送迎など頼む事が可
- ・ 健康を保つことが第一。退職してからはラジオ体操を続けている。一人暮らしは自由であるけれど責任もついて周る

安全な街

- ・ 交通に歩行者に教へてルール
- ・ 災害時の助け合いマップを作る
- ・ 歩道停止線、自転車乗り方注意
- ・ 防災、防犯対策をすすめる街
- ・ 70 歳以上(要検討)の方が長屋的なみんなで暮らせる所を開放し、協同で暮らしてゆけるような地区を作ってゆきたい
- ・ 車がなくても公共交通が整備されていて、病院や行きたい所へ誰でも気がねなく行ける

思いやりのある街

- ・ 地域のことは地域で支えあおうという連帯のある地域作り
- ・ 人にやさしい、お年寄りのやさしい街
- ・ 近所との交流ができる街
- ・ 地区毎の定期会合を持って知り合いを作る
- ・ 孤独なお年寄をなくす街
- ・ 気軽に話し相手になってくれる街
- ・ 挨拶をはずかしがらずに行ってゆける
- ・ 常に声かけが互いにできる
- ・ みんなが集う街
- ・ 緑、花があふれる街
- ・ 自宅の周囲は老人が多いが殆どこもりきり？誘い出す方法？

【Bグループ】

移動

- ・ 外出する時に支援してくれる人がほしい
- ・ 介護保険で利用できないサービスの充実（送迎サービス）
- ・ 入浴、リハビリ（介護予防程度の体操でよい）が自由にうけられ、そこまで楽に行くことができる交通手段がととのっている
- ・ 町内、市内の移動を手伝ってくれるシステムのある町
- ・ 外出がしやすい街（高齢者）
- ・ 買い物をする場所、近くにあまり無いので、歩いていける所を計画して頂きたいものです
- ・ ちょっとした買い物の支援ができる体制づくり
- ・ 高齢者はほとんど病院へ行きます。楽に受診できるように通院支援がある街

ポイント

- ・ ボランティアをすることで、ポイントがもらえ、自分が必要な時にそれを使える

つどい

- ・ 男性の行きやすいつどい
- ・ ひきこもりにならないよう交流の場があるとよい
- ・ 形にとらわれない人間味あふれるイベントがたくさんある街
- ・ 高齢者のつどいを多くもっていただきたい
- ・ サークル活動ができるように
- ・ 地域に高齢者が集まりやすい施設やコーナーのある町
- ・ 介護保険で利用できない人のデイサービスの場
- ・ 近くにすぐ相談できる人、話し合える人がいる町→つながれる町（集まる機会）

ご近所

- ・ あいさつ、顔を見たら声かけを行っております。
- ・ 昔の長屋の様に隣近所の顔が見える街
- ・ 交通事故のない街にして頂きたい
- ・ 商業の活性化を進め、清須市内でのライフサイクルが完結できる街
- ・ 高齢者世帯とさまざまな接点がとれ、清須市が家族となる街
- ・ その方が望む生活が実現されるよう支援体制ができた町
- ・ あいさつのし合える町

健康

- ・ なるべく健康でいられるよう、体操等企画してほしい（近くで行えるように）
- ・ 栄養が良いことが健康、長寿の素（基礎）です。高齢者用食事サービスがある街

さまたげ

一番困難なことはプライバシーをどこまで保証するか

介護

- ・ 清須市全体が高齢者支援にかかわれるように、学区地域で、支援窓口、訪問介護ステーション（24H体制）があると安心
- ・ 介護に対する情報（相談しやすい、不安がない）
- ・ 高齢者が集える場所が身近なところがあり、自由に入りでき、管理者兼相談員が常置しているようにする
- ・ 介護保険について高齢者によく説明して頂きたい

行政

- ・ 高齢者の積極的な雇用をしている街
- ・ 何かあった時には、どこに連絡したらよいか分かり合えてる町
- ・ 災害時の時、救助のシステム（地域、町内の救助システム）のある町
- ・ 役所へ出向くことが難しくなるので近くでサービスが受けれるように
- ・ 在宅生活を望む方が多いので、在宅生活上で困っていることを相談できる窓口が身近にある街
- ・ 市の行事に参加しやすいように会場を分散させて頂きたい

【Cグループ】

災害に強い街

- ・ 高齢者がどこに住んでみえるかわかるといい
- ・ 災害に強い街
- ・ バリやフリーを、駅や役所でやってほしい
- ・ まず近隣の高齢者を知る（たえず挨拶、言葉をかかわす）
- ・ 災害後の立上りが早い街

一人でも安心して暮らせる街

- ・ 見守り制度を作ってほしい
- ・ 声かけが必要、話しをすることがないから見守りの方法を考えたい
- ・ 高齢になって資源ゴミが出せなくなった時に支援してもらえる街
- ・ 気軽に相談できる所がある街
- ・ 認知症になってもおだやかに暮らせる街
- ・ 一人暮らしでも安心して暮らせる街

歩いて行けるサロンで生き生き

- ・ 役所主催の色々な会合、イベントに出かける（友達づくり）
- ・ 気楽に近所づきあいができる
- ・ 近隣の方とのつながりのある街（助け合い）
- ・ 趣味を共有する仲間づくり、町づくり（サロンの活用）
- ・ 気軽に集まる場所のある街
- ・ ふれあい、いきいきサロンが若い人でも気軽に使える街
- ・ それぞれの地区が公平なサロンを持っている街
- ・ いつまでも社会参加できる街（生きがい）
- ・ 高齢者と若人、子供たちが混じって遊べる街
- ・ 老人が気軽に遊べる施設を作ってほしい

社会の宝

子供を増やそう

- ・ 少子化防止のため若人が住みやすい街
- ・ 子供を安心して育てられる街

交通の便利な街

- ・ 高齢になっても自分で買い物に行ける街
- ・ 歩いて図書館に行ける街
- ・ 足が悪くても市内あちこちでかけたい
- ・ 65歳以上になったら施設（清州城）とかの無料バスがあるといい
- ・ 名古屋に出かける交通の補助（70歳以上とか）があるといい
- ・ 交通の便が良くないので安心して乗れるバスを運行してほしい
- ・ 地域密着の小回りのきくスーパーが近くに有る
- ・ 歩道の整備が悪いので、安心して歩ける道を作ってほしい
- ・ 巡回バスの回数を増やしてほしい

清須市の心くばり

- ・ ボランティアポイント貯金の制度がほしい
- ・ 有償サポーターがほしい

社会参加を生きがいに

- ・ 色々な行事があると老人の方は出かけられるから、機会を作ってあげるといい
- ・ 高齢者にでもできるイベントを増やす
- ・ 高年大学を充実してほしい（あるのかわかりませんが）
- ・ 伝統芸能が活発な街
- ・ シルバー人材センターで生き生き街づくり

【Dグループ】

町づくり

- ・市の行事に「書いて伝える」要約筆記をつけて
- ・安心、安全な町づくり
- ・ひとり暮らしでも安心できる
- ・皆で仲良く暮らせる地域づくり
- ・耳が不自由でも参加できる市の行事に

情報が伝わりやすい町

- ・耳の不自由な高齢者がどこにみえるのか把握してほしい
- ・聞こえないことがどんなことか知ってほしい
- ・各種サービスが安心して受けられる
- ・難聴高齢者が安心して参加できるように
- ・情報がしっかり伝わるように

災害対策が整った町

- ・緊急時どうするか？のシステムができているか
- ・移動困難な方への配慮
- ・耳の不自由な人への情報伝達の整備、平常時、緊急時
- ・避難訓練を地域で行う
- ・広報車が聞こえやすく

一人で安心してでかけられる町

- ・交通の便が良く高齢でも外出しやすい町
- ・一人でも気軽に歩ける町
- ・一人でも気軽に安心して歩くことができる町
- ・あしがるバスを利用しているいろいろな所に皆で出かけた
- ・安心して出かけられる
- ・交通の便、いまよりも

便利な町

- ・医療期間が充実した町（眼科が少ない）
- ・近くに店があるとよい
- ・買い物がしやすい町（配達）
- ・ゴミが出しやすい町（収集所）
- ・役所や金融機関の手続きがしやすい町（どれも土日祝休み、身近な場所で手続きができる）

人がふれあえる町

- ・カタチにとらわれずフットワークよく手助けできる町
- ・手助けが気軽に頼むことができる町
- ・隣同志が気軽に声かけができる町
- ・やさしく声かけられる町
- ・子供、老人、各世代が交流できる場所をつくる
- ・身近な地域で敬老会等を開催する
- ・誰かに相談できる
- ・地域で食事会、花づくり
- ・「きずな」を作る町、近所とおつきあいが気軽にできる（安否確認等）
- ・世代を問わず集える場所がある町
- ・とじこもりがちの方をいかにして出かけていただけるか
- ・高齢者にも可能な限り参画、活動できることを考える
- ・近くに助けてくれる人

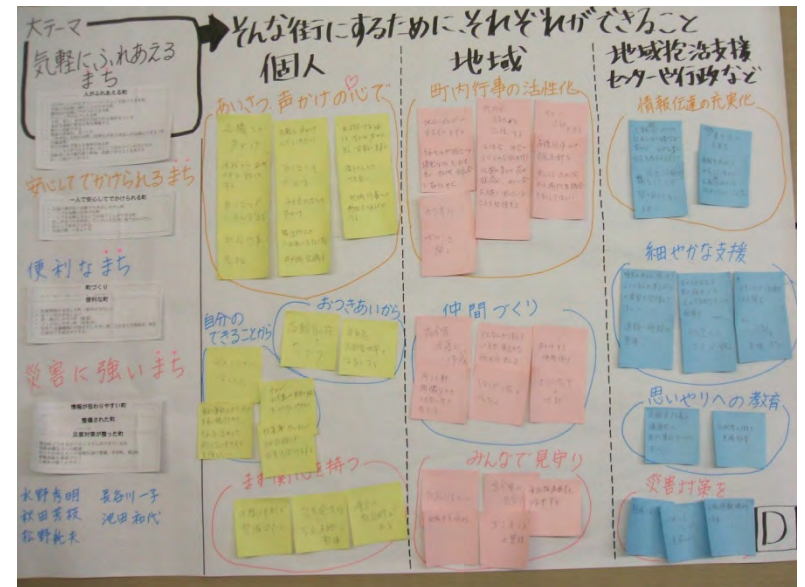
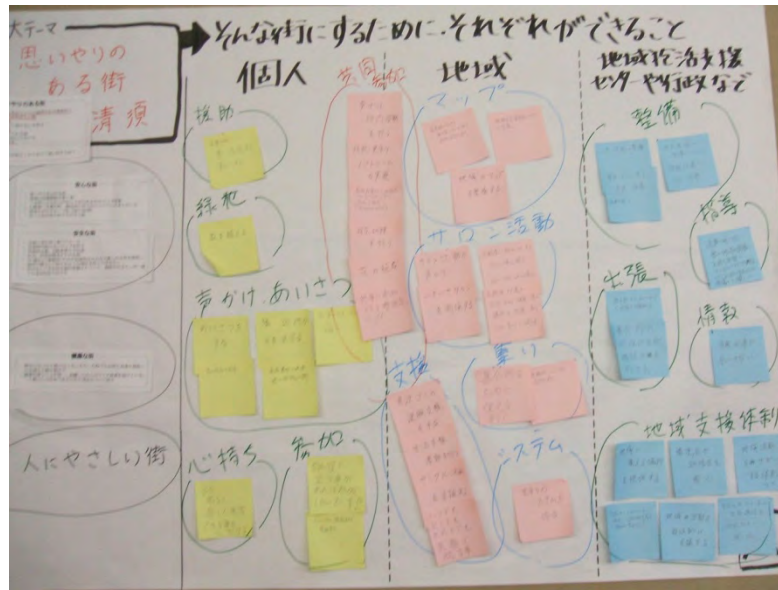
整備された町

- ・高齢者にやさしい道路の町
- ・歩行者、自転車、車いす、車、それぞれが通りやすい路が整備された町
- ・高齢者が使いやすいトイレを
- ・みちの段差がないように
- ・道路の段差、側溝の段差をなくしてほしい

第2回目のまとめ

「理想の街にするためにそれぞれができること」と「

第2回目のテーマ



【Aグループ】

目指す街：思いやりのある街清須

<p>安心な街</p> <p>安全な街</p> <p>健康な街</p> <p>人にやさしい街</p>	<p style="text-align: center;">個人</p> <p style="text-align: center;">援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有事の時、車で送迎する事ができる <p style="text-align: center;">緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花を植える <p style="text-align: center;">声かけ・あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつをする ・ 隣同志の挨拶 ・ 隣、近所の方を見守る ・ 老若男女とわず皆にやさしい街 ・ 常に笑顔の声かけを心がける <p style="text-align: center;">心持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々明るく、楽しく生活できる事を心がける <p style="text-align: center;">参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何か役に立つ事があれば参加したいです！ ・ コミュニティに積極的に参加する 	<p style="text-align: center;">共同参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声かけ、訪問活動を行う ・ 防犯、見守りパトロールの実施 ・ 防犯対策として地域内のパトロールを御子なる(学生の下校時、夜間(PM9:00頃)) ・ 防災訓練を行う ・ 花の植栽 ・ 行事に参加できる雰囲気！！ ・ いつでもどこでもだれとでも笑顔で話す事 	<p style="text-align: center;">地域</p> <p style="text-align: center;">マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のマップを整備する ・ 災害時における助け合いマップを地域全員がもつ ・ 地域の交通安全マップの作成 <p style="text-align: center;">サロン活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サロン活動の声かけ ・ いきいきサロンを開催する ・ 高齢者が孤立しないようサロン等を開き、話し語りあえる場を ・ 高齢者対象の防災、防犯、健康等の講座や体操等を小さい単位で開催 <p style="text-align: center;">集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集会所は自由に使えるように ・ 定期的にコミュニティの会合を持つ <p style="text-align: center;">支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源ゴミの運搬支援をする ・ 生活支援活動を行う ・ サークル活動を支援する <p style="text-align: center;">システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見守りのシステムを作る ・ ゴミネットの管理 <p style="text-align: center;">地域包括支援センターや行政など</p> <p style="text-align: center;">整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災無線が完備しているので、情報伝達にうまく活用 ・ 公共交通の整備 ・ 緊急ブザー等を各戸(高齢者)設置 <p style="text-align: center;">出張</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者によるタウンミーティングの開催(4半期毎に) ・ 集会所に行政の方が相談日を設ける <p style="text-align: center;">指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路に食べ物、飲み物等の容器を捨てる者が多い。コンビニストアが付近のごみ拾いするように指導してほしい <p style="text-align: center;">情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報関連があまりにも少ない <p style="text-align: center;">地域支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で集える場所を提供する ・ 行政によるコミュニティの推進(行政の担当者も積極的に参加する) ・ 講演会や研修会を開く ・ 地域の活動を財政的に支援する ・ 地域活動をサポートする体制をつくる ・ 自治区や小さい単位の出前講座(防犯、防災)を開催
--	--	--	--

【Bグループ】

目指す街：絆のある街

	個人	地域	地域包括支援センターや行政など
安心な街	<ul style="list-style-type: none"> 私がやれること、ボランティア 情報の収集 家族で高齢者を支える方法はないか… 友人と行動する（車の乗り合い等） 介護保険について要望があれば個人的にも説明に行く 積極的に外出する 	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンターの内容をもっと PR するためチラシを配る 地域の顔を作る（介護、生活等） 	<ul style="list-style-type: none"> 市のサービスで巡回バスを走行（路線バスでなく予約をして自宅前に来てもらう）登録制。65歳以上又は障害者 高齢者がどこにどのような状態で暮らしているのか（独居とか）どんなことで困っているのか調査・アンケートをとる 高齢者の交通事故死が多いので対策を考えて頂きたい 24H、サポートするヘルパーステーションあるいはケアセンターを各地域につくる
ふれあいがある街	<p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 声かけをする 挨拶、声かけを必ず行う 毎日の挨拶。登校時、犬の散歩等のときさりげなく玄関に出て挨拶する。みんながすると家の中の高齢者も出てきてあいさつするようにしていく 声かけをする、色々なサークルに近所の人をさそい出かける。 	<p>つどいの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の行事は高齢者に解りやすいように連絡するとよい 男性のつどいが少ないのでなんとかできないか サロンが開かれる（有償） みんなでお花見会を（バーベキュー付き）開く 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅介護にボランティアがかかわれるようなサービス、介護保険に該当しないサービスを有償ボランティアで 土地、建物の無償提供 移動、買い物ショップの支援（雇用の促進） サロン、ボランティア活動を指導する。できればボランティア精神を育成し、無償活動はできるだけ避けるシステムを作る 障害者、年齢制限なく清須市の子予防を増やす。高齢者福祉で経済発展の施策をしてほしい 市が計画した行事はできる限り分散して頂きたい。身近なところで開いてほしい
元気がでる街	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に良い食生活について等、集会所等で話す。食育する 散歩 自分の健康は自分で守る、セルフメディケーションを心がける 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で集まって食事作り 	<ul style="list-style-type: none"> 地区サロン、いつでも集まれる所がほしい 食事をみんなで作るコミュニティを 高齢者グループでのウォーキング、散歩会 食育、健康づくり、介護予防体操の啓発グループを育成する 配色サービスの業者を増やす（市の補助対象業者を増やす）

【Cグループ】

目指す街：支え合い安心して暮らせる清須市！！

	個人	地域	地域包括支援センターや行政など
災害に強い街	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアする ・ まちづくりコーディネーターになる ・ 災害ボランティアコーディネーターになる ・ お互いに声をかけ合う ・ 地元で買い物をする ・ 地元で買い物をする ・ 防災訓練に参加する ・ 隣近所の見守り ・ 家族の集合場所（避難場所）をきめておく（防災） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元でできた花、野菜を売ろう ・ 地域防災組織を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の整備 ・ 道路整備の充実 ・ 電柱をなくそう ・ 放課後の子供あずかりをもっと市が考えてほしい ・ ○○の道路にも歩道を設けてほしい ・ 病気（軽度）の子どもも保育園で預かってほしい
一人でも安心して暮らせる街	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急医療情報キットを申請する ・ 近隣の人と知り合う、言葉をかかわす ・ 認知症サポーターになる ・ 高齢者のゴミ出しをする ・ 広報をよく読む ・ 地域の催しに参加する ・ シルバー人材センターを活用しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハザードマップを作り、一人暮らしの方を地図打ちする ・ 地域の催しを盛んにする ・ 地域マップを作る（防災） ・ サロンを作ろう ・ 趣味仲間の集まりを作る ・ 防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿会（長寿を祝う会）は清須でやるのではなく、清州・新川・西枇杷島ごとにやってほしい ・ 広報に庁舎所在地やマップをのせてほしい ・ 各町の分庁舎をなくさないでほしい ・ 高年大学を充実してほしい（内容を） ・ 町単位での行事をやってほしい
			<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアポイント制度を社協ボランティアセンターに制度化してもらおう ・ 移動図書館 ・ 社協だよりにサロンやボランティア登録団体をのせる ・ サンのマップがほしい（ホームページでも）

【Dグループ】

目指す街：気軽にふれあえるまち

安心してでかけられる
まち

便利なまち

災害に強いまち

個人

あいさつ・声かけの心で

- ・ 近隣への声かけ
- ・ 普段から近所の方と話をする
- ・ あいさつがしあえるまち
- ・ 町内行事に参加
- ・ 気軽に声かけしていきたい
- ・ あいさつをかわす
- ・ 子どもたちへの声かけ
- ・ 隣近所とのふれあいを多くする。井戸端会議も
- ・ 出かける時はちょっと声かけをしようをお願いをする
- ・ 隣の人とのつき合い
- ・ 地域行事への参加を呼びかける

おつきあいから

- ・ 高齢家族の把握
- ・ 単身者、高齢者世帯を把握する

自分のことから

- ・ 自分のわかっていることを
- ・ 要約筆記のボランティアを長く続けてきた。それを活かして聞こえない方たちを支援したい
- ・ サロン。子供達の見守り隊を続けていきたい
- ・ 野菜等たくさんとれた時はおすそ分けをする

まずは関心をもつ

- ・ 医療体制が整備されている
- ・ 災害発生時の緊急連絡の整備
- ・ 身近に商店街がある

地域

町内会行事の活性化

- ・ 地区サロンへお誘いする
- ・ それぞれが持っている得意なことを引き出し、サロンや交流会に生かしてゆく
- ・ カラオケ
- ・ 子供会、寿会の方々と交流を行う（公園の草取り、花植栽、カレー会）
- ・ 町内会活動を活性化
- ・ お年寄で困っていることを把握する
- ・ サロン活動をする
- ・ 各種団体との交流を図る
- ・ 安心して出かけられる場所、機会を多くしてほしい
- ・ サロンを開く

仲間づくり

- ・ 高齢者名簿の作成
- ・ 向こう三軒両隣りとの付き合い方を考える
- ・ どんな人が住んでいるか身近な所から知る
- ・ 障害者の把握
- ・ 声かけする仲間づくり
- ・ ボランティアの活動

みんなで見守り

- ・ 防犯パトロール
- ・ 地域力を活用
- ・ 高齢者の見守り
- ・ 市制推進委員を活用する
- ・ 防災訓練

地域包括支援センターや行政など

情報伝達の充実化

- ・ 広報誌だけでは伝わらない場合があるので、分かり易い方法を考えてほしい
- ・ 放送（広報など）が聞き取れるように充実
- ・ 情報伝達方法の充実を
- ・ 情報を伝わりやすくしてほしい。広報誌のみでは伝わりにくいことも

細やかな支援

- ・ 障害がある人、困ったりしている人の本人からの要望を把握してほしい
- ・ 道路、施設の整備
- ・ 目の不自由な方、耳の不自由な方、足の不自由な方への配慮を
- ・ うら道へのゴミ回収
- ・ ボランティア活動への支援を
- ・ サロン活動を支援する

思いやりへの教育

- ・ 高齢者対象の講演会へ要約筆記をつけてほしい
- ・ 高齢者に対する意識教育

災害対策を

- ・ 緊急時システム
- ・ ハザードマップの見直し
- ・ 広域避難場所の充実

ワークショップ参加者へのアンケート

	①2日間のワークショップ全体についての感想	②他のグループの発表を聞いて感じたこと等	③そのほか意見等
1	それぞれの立場のメンバーに会えて楽しく作業ができました	それぞれの表現は違っていてもどのグループも思っていることは同じだと思った。	高齢者にやさしいよりよい街づくりに役立てばよいかと思います。
2	良かったと思います。	参考になりました。	結果をお聴きしたいと思います。今後、ぜひ行政の計画に取り入れて頂きたいと思います。
3	大変すばらしい意見を多々でているので是非市政にいかしてほしいです。	大体、主たるニーズが同じ様に感じました。	—
4	地域の人とふれあえて良かった。市の計画に関われることはうれしい	地域に愛着があるんだと感じた。地域のつながりが大切ということ は誰もがわかっているが、個人情報について世間がうるさいので なかなかコミュニティがづくりにくくなっていると感じた。	今回の意見が数多く採用された計画ができるとうれしいです。
5	これからのサロン、民生の活動に役立ちます。	いがいいことも多くのことがわかりました。	この会に出席できたことはとても勉強になり次の会にも出席したい です。
6	2回目だけでしたが皆さん一生懸命考えてしっかりと意見が出されたと思います。	皆同じような意見が出されたと思います。一人ひとりが元気で何 かできる事をしよう、したいと思っている。ここの会場にみえている のだと思いました。	私も元気でできる事をがんばろうと思います。
7	いろいろな意見を聞くことができ本当によかった	有償ボランティアについては初めて耳にしたのでどういものか もっと知りたい	市政推進委員さんや各種団体を取り込みながら地域活動に生か していきたい
8	分野の違う方たちの意見が聞け、情報も入りました。意見をまとめていく作業も楽しく行うことができました。	同じ様な内容・意見が多かったと思います。視点が少しずつ違 い、なるほどと思うことがありました。	提案された内容が行政に反映され、施策に盛り込まれるように 願っています。
9	大体同意見が多く良い経験を持つ事ができました。	—	—
10	初めての経験で流れが最初にわからなかった。最後になって今後の方向性がわかった。	それぞれが真剣に住みよい街づくりのため考えているが行動でき るところまでどうしたらいいか考える必要がある	合併後、どんどん大きな街になっていくが、従来からあるいいと ころは継続してほしい
11	町、市をよくしていきたい気持ちが存分に表わせたと思います。	タイトルはいろいろあるけど、みなさん同じ様な考え、思いをも つて、実際に活動されていますね。	—
12	1日目にたくさん意見が出て、それを発展させた具体的なものに するという作業がはじめは特にむづかしく感じました。	さまざまな意見があり、同意見だったり、ちがった意見だ ったりでしたが、とても参考に(考え方の)になりました。	—
13	自分の考えをまとめる機会を得た。自分がすむ町をどうなっ てほしいのか、自分が年をとった時にどんな生活をしたいか等考 える機会を得て良かった。	この時期(状況)なのに、災害についての町づくりの提案を自分 になかったことを、他のグループ発表を聞いて反省した。	このワークショップをカタチだけにおわらせないでほしい。施策メ ンバーの中にこの4つのグループから数名は出させてほしい。住 民の意見をききましたというパフォーマンスにおわらせないでくだ さい。
14	行政にはもう一步踏み込んで地域により沿ってほしいと思いま す。地域は地域で頑張りますので。	みなさん良く地域の事情をご存知で、きめ細かい内容が多か ったと思います。	「広報」「てとて(社協)」が置いてあったら良かったと思います。
15	多くの意見が出され、高齢化社会に向けての思いは同じである ことがよく分かりました。	参考になりました。	—
16	皆さんの意見を聞いて参考になりました。グループの方々と話 せた事が良かった。	地域活動に取り入れて楽しい地域づくりに心がけたいと思いま す。	—
17	様々なアイデア提案について行政がしっかり受け止めて頂き、 市民が安心・安全で誇れる町への取り組みとして頂きたい	専門知識をお持ちの方の話も聞けてよかったです。	社協とのかかわりもよく話し合っ、市としての施策として頂きた い。
18	会場がちょっとせまい、隣の席の音がするので全体で聞きづ らい。	みんなすごいと思いました。予想以上に立派だと思います(意見)	—
19	いろいろなご意見をお伺いできました。今後の地域活動に活か していきたいと思えます。	健康面や便利さなど、普段の活動(地域活動)ではあまり意識し なかったことをお聞きできたのは参考になると思います。	市民の声を直接聞いていただける機会を設けていただきありが とうございました。こうした意見をより多く設けてください。
20	2日目について時間が無い。	高齢者についての問題にしばってほしい。良い勉強をさせてい たきました	介護についての問題も取り上げてほしい。
21	他の方面もいろいろ活動しているので参考になります。初めて の参加でしたがいろいろ勉強になりました。	いろいろな意見が出て参考になりました。言葉のあやはむづか しいです。	—